



No. 48

H30. 2. 1 発行
埼玉県ふじみ野市議会

市議会だより

CONTENTS

急がれる支援、水害への備えを 6p

台風第21号被害対策を集中審議

**子どもから高齢者まで誰もが
住みやすいまちづくりに向けて!** 総括質疑 2p

市政を問う! 一般質問 18人が政策論議 8p

働く人シリーズ ⑳ 環境センター職員

ガラス越しに見えるピット内は家庭ごみ…。

クレーンを操縦してごみを均一にするのも大事な仕事。ここは環境センターの中央制御室。24時間稼働の焼却炉をモニターで監視する目は今日も真剣です。

関連記事…14ページ



子どもから高齢者まで誰もが

住みやすいまちづくりに向けて！



ふじみんびんしゃん体操で元気な毎日を

平成29年第4回定例会では、台風第21号に関する被害状況とその対応の報告や災害見舞金支給条例の一部改正など台風被害に関する関連議案をはじめ、一般会計補正予算、国民健康保険税条例の一部改正、市立スポーツセンター条例など市

長提出議案26件全てが可決されました。また、議員提出議案2件のうち1件の意見書が可決されました。

一般会計補正予算(第7号) 長寿推進事業

かみふくおか西デイサービスセンターを介護予防拠点として整備することの意義は。

高齢者の介護予防推進のため、平成29年4月から介護予防・日常生活支援総合事業を開始した。これに伴う介護予防に取り組む新たな拠点として(仮称)介護予防センターを設置する。

設置後の事業概要は。体力測定、介護予防の

セルフチェック、ふじみんびんしゃん体操の普及啓発、地域で実施される介護予防の支援や介護予防サポーターの養成、介護予防に関する情報発信等を予定している。

子育て ふれあい広場 地域の子育て支援施設整備の考え方は。

子育てふれあい広場は子育て世代が利用する支援拠点の一つである。市内の子育て支援拠点は現在11カ所と他市に比べると充実し

旧上福岡学校給食センター跡地

今後の利活用は。用地の一部をフクトピア利用者の駐車場として活用することが考えられる。また、隣接する上野台小学校の教室不足が推計され、増築校舎の建設や公園緑地としての利用についても検討している。

英語必修化に伴う 外国語指導助手の増員

事業の内容は。平成32年度から5、6年生で行われている外国語活動が教科として新設され、3、4年生では必修化される。

文部科学省では平成30年度から31年度までを移行期間とし、5、6年生は年間50時間、3、4年生は年間15時間実施する。授業数増加への対応として外国語指導助手を増員するために

婚姻届を提出した方向け 記念撮影プレート

設置の場所と周知方法は。設置場所は本庁市民課、大井総合支所市民総合窓口課を予定。周知の方法はホームページや市報に掲載するほか本庁や総合支所窓口での案内を予定している。併せてふじみんをデザインしたオリジナル婚姻届も作成する予定。

個人番号利用事務等に関する条例の一部改正

マイナンバー制度による市民サービスの向上は。一部の事務手続きについて、添付書類が省略できる。また、マイナンバーカードを取得するとオンラインサービスを通じて子育て等に関する手続きを検索できる。将来的にはオンライン上の手続きも可能になるなど利便性の向上が図られる。

◆議案に対する総括質疑

- 青 藍 会 加藤 恵一 議員
日本共産党 新井 光男 議員
公 明 党 伊藤美枝子 議員
信 政 会 鈴木啓太郎 議員

提出議案と審議結果

◎全員賛成 ○賛成多数 ・否決

専決処分の承認
◎一般会計補正予算(第3号)
◎一般会計補正予算(第4号)
◎災害見舞金支給条例の一部改正
以上、承認

平成29年度補正予算
◎一般会計(第5号)
◎一般会計(第6号)
◎一般会計(第7号)
◎国民健康保険特別会計(第2号)
◎介護保険特別会計(第3号)
以上、可決

条例の制定
◎市立スポーツセンター条例
可決

条例の一部改正
◎個人番号の利用事務等に関する条例の一部改正
◎国民健康保険税条例の一部改正
◎市立デイサービスセンター条例の一部改正
◎市立放課後児童クラブ条例の一部改正
◎ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部改正
◎都市公園条例の一部改正
◎災害見舞金支給条例の一部改正
以上、可決

契約の締結
◎上福岡清掃センター解体及び跡地整備工事請負変更契約の締結
◎市立大井総合体育館大規模改修、武道館大規模改修及び耐震補強工事請負変更契約の締結
以上、可決

人事
◎人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて
同意

その他
◎道路線の認定(3件)
◎市立上福岡駅西口駐車場の指定管理者の指定
◎市立子育てふれあい広場の指定管理者の指定
◎市立放課後児童クラブの指定管理者の指定
◎自転車駐車場等の指定管理者の指定
以上、可決

意見書
◎平成29年台風第21号による浸水被害に関する意見書
可決
・地球温暖化防止の強化を求める意見書
否決

【訂正とお詫び】
前号(第47号)の「一般質問」の13ページ上段に掲載した写真の説明文に誤りがありました。深くお詫び申し上げます。
(誤) 大井浄水場の排水塔(正) 大井浄水場の配水塔

条例改正
全員賛成で可決

県内初、子ども3人目からの保険税を減額
国民健康保険条例の一部改正

多子世帯の負担を軽減し、子育て世帯を支援する目的で、3人目のお子さんから保険税負担、最大3万6000円余りを減額する提案がなされました。

問 新たな減免の対象は18歳未満の被保険者が3人以上いる世帯の納税義務者ということ、これについては所
答 子育て支援施策という観点から、所得要件は設けていない。
問 ゼロ歳児から18歳未満の被保険者は、何人いるのか。
答 2576人となっている。
問 3人目からの均等

割の減免ということだが、18歳未満全員を減免の対象とすることは考えなかったのか。
答 すべての子どもの均等割の減免は、国民健康保険の広域化とともに国は導入を検討していると聞く。試算では約9300万円の影響が出るので、一保険者である市の保険税収入では、賄い切れない。国、県には要望していきたい。



多子世帯を応援

補正予算
全員賛成で可決

ごみ分別をすすめた市民の成果
再商品合理化収入
補正額1222万4千円

一般会計補正予算(第7号)の委員会審査で、雑入の項目に再商品合理化収入があり、この内容の説明を求める質疑が行われました。

問 再商品合理化収入とは何か。
答 今回約1200万円の増額補正をしたが、容器包装プラスチックは、公益財団法人容器包装リサイクル協会から分別の精度が良いと評価され収入が得られたという内容である。
問 市民の分別の努力の



市内から集められた容器包装プラスチック

結果が、この数字になって表れているという認識で良いか。
答 そのとおりである。
問 ごみの減量化の金メダルといえる。市のホームページで、この結果について掲載する予定はないか。
答 ホームページや市報等に掲載していきたい。



補正予算
全員賛成で可決

子育て応援手帳で母親をサポート
子ども・子育て支援対策事業
補正額131万2千円

子育ての情報を母親、父親、祖父母が共有し、子育てと仕事を頑張っている母親の負担を少しでも和らげ、家族とともに子育てを楽しむことを目的に子育て応援手帳が作成されます。

問 作成の目的は。
答 子育てと仕事に孤軍奮闘している母親の負担が少しでも和らぎ、そしてこの手帳を読むことによって父親や祖父母ともに子育てを楽しむ中から、子育ての充実を図っていきたい。
問 読んでもらうための工夫は。
答 周知方法としては、市報、県、市のホームページ、子育てタウンアプリ、Fメールなどを活用する。
また、市内の子育て関連団体等での活用も呼びかける。

議会基本条例の制定に向けて始動!

ギカイの動き

地方分権時代における自主的・自立的な議会のあり方と、議会の基本的な役割や組織、機能、権限等を定めた「議会基本条例」を制定することで、より市民に身近で開かれた議会を目指します。

平成29年9月定例会において「議会基本条例」を制定するため、議会に関する条例の制定に向けた特別委員会が設置されました。委員は各会派から選出された5名の議員により構成されています。委員会の役割は、条例案の策定とそのための調査研究や意見聴取等を行うことです。策定に当たっては、今月に市民との意見交換会を行うほか、4月にパブリックコメントを行う予定であり、市民参加のもとに行います。平成30年6月定例会への議案上程を目指して策定作業を進めていきます。

議会基本条例に関する意見交換会

議会基本条例案の説明の後に、市民の皆さんのご意見をいただき、意見交換を行います。ご参加をお待ちしています。

1日時 平成30年2月25日(日)午前の部=午前10時~正午 午後の部=午後2時~4時(都合の良い回にご参加ください。)

2場所 市役所 本庁舎5階 全員協議会室

3内容 初めに60分程度条例案を説明し、その後意見聴取・意見交換を行います。

条例制定
全員賛成で可決

利用しやすいスポーツ施設へ
市立スポーツセンター条例

市内で利用されている各スポーツ施設を一体的に管理・運営するための条例が提案されました。受益者負担の考えから、施設の利用料金も設定されています。

問 条例制定の趣旨は。
答 総合体育館を中心とするスポーツゾーンの整備と併せて、現在個別に制定されているスポーツ施設の条例を一本化する。また、運動指導室を上野台体育館のトレーニング室とし、指定管理者による指導など一体的に管理する。
問 総合体育館、上野台体育館、駒林体育館、それぞれの利用状況は。
答 総合体育館が年間約70%、上野台体育館が約98%、駒林体育館も同じく98%と高い稼働率となっている。



総合体育館で行われたふれあいスポーツ大会

議会インターネット放映の実現に向けて

議会のインターネット放映についてのルール作成、YouTube(ユーチューブ)への動画の投稿方法・課題などの検討、議員の継続的なICT研修などを行っていきます。



ICT研修会の様子

議会ICT化推進会議では、議会のインターネット放映についてのルールを要綱案としてまとめました。これから議長への報告を行う予定です。これと同時に並行してYouTubeへの動画の投稿方法・課題などを実際の作業を通じて検討しています。また、昨年5月から本会議、委員会においてタブレット端末が導入されましたが、その後の利用状況について議員全員にアンケートを実施しました。利用実態に応じた研修を行い、各議員がさらにタブレット端末を有効活用できるようにし、情報公開、議会活性化を図ります。



元福岡地区に隣接する江川流域都市下水路も大きな被害を受けた

※ベタ基礎：建物の底板一面を鉄筋コンクリートで支える基礎

急がれる支援、水害への備えを

平成29年10月に発生した台風第21号は、本市に未曾有の被害をもたらしました。市議会では、平成29年第4回定例会において、台風第21号による本市の被害状況とその対応の報告、被災者を支援するための補正予算及び条例の一部改正について審議しました。

早期の復旧と今後に向けた万全な備えを

— 報告第26号 台風第21号による —

本市の被害状況とその対応について —



浸水被害を受けた元福岡地区

浸水被害の被災者への支援策

市内で浸水被害を受けた被災者を支援するための補正予算が計上され、災害見舞金支給条例の改正について審議されました。

平成29年度一般会計補正予算(第6号)【全員賛成で可決】

ベタ基礎等の床下浸水の排水費用の一部助成

問 浸水住宅排水処理費補助金について限度額を3万円または請求金額の2分の1とした根拠は。
答 ベタ基礎の一部を壊し排水するケースは約

9万円かかると言われている。一方で排水費用が約1万円で済んだケースもあり様々である。

滝ゲートポンプ増設工事で浸水被害の軽減を

問 2カ年の継続事業である。完成時期は。
答 平成30年の台風の時期に間に合うようにと考えている。
問 排水能力は。

答 1分間当たり60m³を排水できる。

問 今回の滝、中丸地区の浸水量は。
答 今後、内水解析を行う。

問 内水解析が完了していない段階で、予算計上する理由は。
答 ゲートポンプが特注品で納品までに時間がかかる。そのため、内水解析と並行し、県との協議を行っている。

災害見舞金支給条例の一部改正【全員賛成で可決】

見舞金を7万円に引き上げ

問 災害見舞金が旧来の4万円から7万円に引き上げられ、床上浸水の被災者へ支給される。床下浸水の被災者へ支給する考えは。
答 現在、全国的に床上浸水の被災者への見舞金を支給している事例がない。

原因の究明を

問 元福岡地区の浸水被害の原因は。
答 10月22日の総雨量が148mmと大量の雨が降ったところに、23日深夜からの豪雨により新河岸川の水位が急上昇したため、江川流域都市下水路の樋門が閉鎖された。その後も雨が降り続き、内水位が上昇し被害が発生したと推測される。

詳細は川越市と設置する第三者検証委員会で検証する。

問 滝、中丸、水宮、川崎の各地区の検証はどのように行うのか。
答 内水解析による分析を行い、浸水被害の防止に努める。

災害時の市の対応は

問 災害対策本部はいつ設置されたのか。
答 台風の接近に備え、前日の10月21日から警戒体制を取り情報収集に努めていた。台風が勢力を保ったまま接近することが予想されたため、早期に非常体制に移行し、22日午後3時に災害対策本部を設置した。

問 避難に際して、要配慮者への対応は。
答 10月22日午後2時30分の上福岡公民館を避難所として開設した。午後6時40分に関係自治組織の会長へ連絡するとともに、防災行政無線で避難準備・高齢者等避難開始を発令し、避難を呼びかけた。

今後の対策は

問 設備等のハード面での対策をどのように考えているか。
答 元福岡地区については、第三者検証委員会な

どの意見を基に浸水対策案を検討していきたい。また、江川流域都市下水路から直接、新河岸川に排水できるようなポンプ施設や調整池の築造などを県や国と協議をしていきたい。

滝、中丸地区については、新河岸川に接続している雨水幹線のポンプゲートを改良し、排水能力を強化していく。

水宮、川崎地区については、臨時ポンプの保有数を増やし、緊急時のポンプ設置箇所の増加を検討し、浸水被害の軽減を図る。また福岡江川雨水幹線の上流域に今後も雨水貯留浸透施設を設置する。

- ◆報告第26号に対する質疑
- 青 藍 会 大 築 守 議 員
 - 青 藍 会 山 田 敏 夫 議 員
 - 日 本 共 産 党 床 井 紀 範 議 員
 - 公 明 党 川 畑 京 子 議 員
 - 信 政 会 鈴 木 啓 太 郎 議 員
 - 信 政 会 谷 新 一 議 員
 - 無 所 属 民 部 佳 代 議 員

意見書 【全員賛成で可決】

復旧・復興への後押しを国へ要望

定例会の最終日、議員提出議案として「平成29年台風第21号による浸水被害に関する意見書」が提出され、審議の結果全員賛成で可決されました。

意見書の内容は、先般の台風による浸水被害者への支援や被害からの復旧・復興事業に対する財政支援、そして新河岸川の河川整備の推進などについて、国からの支援を求める内容になっています。

意見書は平成29年12月15日付けで国の関係省庁に送付しました。

●意見書の全文は市議会ホームページまたは議会図書室で閲覧することができます。

●ホームページへのアクセスはこちらのQRコードから。



滝、中丸地区の被害状況



水宮地区の被害状況

市政を問う！ 一般質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、18人の議員が一般質問を行いました。掲載した内容は各議員本人が要約したものです。なお、全ての質問と回答は市議会ホームページの会議録で閲覧できます。（2月下旬掲載予定）

高齢者の居場所づくり

山田 敏夫議員

問 高齢者の居場所づくりとして、子どもから高齢者まで交流する「多世代交流型サロン」を今後どのように整備していくのか。
答 これから設置する（仮称）介護予防センターなどで取り組みを地域に広げていきたい。

学習支援の充実

問 経済的な理由により就学が困難な方に対する高校・大学への入学準備金と奨学金貸付制度の拡充は。
答 今後は、市が直接貸し付けるのではなく、金融機関から教育資金の融資を受け返済した方に対して市が利子補給する方式に変更して所得要件の緩和等、より役立つ制度にしていきたい。

農地の活用を

問 農家の協力を得て菜の花などを楽しめる景観づくりをしてはどうか。
答 国の多面的機能支払交付金などの制度を活用して実現していきたい。



介護予防センターに変わる
かみふくおか西デイサービスセンター

保育士の人材確保、処遇改善策

渡辺 大議員

問 常勤の保育士に一人当たり月1万4400円、臨時の保育士に月7200円の補助金を交付している。保育士の人材確保、処遇改善策についての更なる打ち手は。
答 認可保育園への土地賃借料の助成を引き続き行う。
問 市内には、定員の120%ほどまで頑張ってくれている保育園もある。既存の保育園の受入人数を増やせないか。
答 現実的には困難な状況である。

未就学児及び保育士への予防接種の助成

問 インフルエンザ予防接種は、児童、他の園児、家族、保育士への発症予防などの相乗効果がある。65歳以上の方は、1000円の方、自己負担で受けられることとのバランスも欠く。市の考えは。
答 研究する。

病児保育の拡充

問 保育園に通っている子どもが病気になる時時に会社を休まなければならない。病児保育の拡充は。
問 病児保育の拡充は。
答 病児保育の拡充は。



スマートフォンで撮った電子データの受給資格証の画像

子ども医療費の受給資格証を電子データで

問 スマートフォンで撮った受給資格証の画像で対応できないか。
答 検討する。

結婚するならふじみ野市役所で届出挙式を

加藤 恵一議員

問 市役所で届出挙式をしてはどうか。
答 市のイベントの一环として数組限定で行うなど、他市事例を参考に効果的な実施方法について研究していきたい。

地区に愛着をもてるまちづくり

問 ふじみ野市PR大使ふじみんのデザインや指定避難場所などを記載した街区表示板を作成してはどうか。
答 ふじみや指定避難場所を記載することは、可能であると考えられる。現在劣化が進んでおり付け替えも検討している。新たに作成する際は、提案を参考にしたい。



街区表示板

子どもの貧困対策をいかに進めるか

鈴木 啓太郎議員

問 子どもの貧困の実態把握はどのように進んでいるか。
答 生活状況への調査から、生活困難を抱える世帯の子どもは、経済的困窮だけでなく、学習への影響、心身の不調、自己肯定感の喪失などを伴い、また保護者には病気やDV被害があるなど包括的な支援を必要とする等の分析を重ね、切れ目のない支援実施の体制をつくらせていく。

地震火災を防ぐ地震ブレイカー

問 大地震発生時の木造住宅密集地域の火災対策として地震ブレイカーの助成を進めては。
答 地震発生後の二次被害対策として一定の評価を得た製品と捉えているので、様々な機関の推奨事例を検討していく。



地震ブレイカー

健康寿命を延ばすたばこ対策

民部 佳代議員

問 禁煙に対する情報提供、禁煙治療の助成など対策を行えないか。
答 情報をホームページに掲載していきたい。
問 公共施設内は禁煙だが、入り口付近の喫煙所で受動喫煙する。敷地内に閉鎖された喫煙ブースを設けるなど分煙対策を。
答 喫煙場所を工夫したい。



市民の力で文化振興

問 文化の主役は行政ではなく市民。実行委員会形式で文化活動を行う団体に助成を。
答 具体的に検討したい。

子どもを痴漢被害から守る

問 痴漢被害はオープンにならないが、実際は交通事故より多い。
答 痴漢被害はオープンにならないが、実際は交通事故より多い。

小・中学生の副教材

問 教材が重く身体への負担も大きい。購入の基準が必要では。
答 各校の実態に応じた選定している。

大井分館前道路の狭い部分の改善を

西 和彦議員

問 この道路は大井弁天の森との間を通り大井分館を過ぎると幅員が4mを切る狭い坂道である。そのため、車のすれ違い時などにトラブルが生じているが、道路改良についての考えは。
答 道路整備には、境界確定と道路の後退や道路構造等の課題もあるので、今後、交通量を考慮し検討をしていきたい。



大井分館前の狭い部分

手話言語条例の施策展開は

問 第3期障がい者基本計画の施策体系の中で、手話言語条例を周知することになっている。また、条例の第4条では、5つの施策を総合的かつ計画的に推進する責務が定められている。これらの施策展開は。
答 言語としての手話を容易に使用でき、意思疎通が図られるよう周知に努め、手話への理解が深められる環境整備を行う。また、条例の定める5つの施策推進については、それぞれの施策項目に応じた具体的な施策の展開を図っていく。

子ども食堂の推進

新井 光男 議員

子ども食堂の貧困が大きな社会問題となる中、子ども食堂は、貧困対策の一つとして急速に広がっている。事業団体の育成方針は。



交差点の改良対策を

現在、子どもの貧困対策推進計画を策定している。子ども食堂のような「食」を通して支援する取り組みについて、各地域の状況を踏まえ、市として検討したい。

子ども食堂の財源的な支援の考え方は。

事業主体や運営形態、食材や衛生面などの課題を考慮していく必要がある。

三芳スマートIC周辺の企業立地と安全対策

企業立地に伴う周辺道路の交通量の推計と安全対策は。

立地企業の車両は、三芳スマートICを利用することが予想されるが、大きな交通量の影響はないと予測される。安全対策は、JAいるま野東部第一共販センター前の交差点改良を含め、三芳町と協議している。

都市農業の振興

有山 茂 議員

生産者のニーズにマッチするような補助対象事業や補助対象者の拡大を図るべきでは。

今年度から導入した農業生産改善事業補助金は、中心的担い手農家を育成する効果も期待できる。

農地の多面的機能を活用した保全策は。

災害時に市民の一時避難場所や資材置き場等に利用する。防災協力農地登録制度も市街地では



重要な役割を担っており、今後検討する。

三芳スマートIC周辺整備は

JAいるま野東部第一共販センター前交差点の改良、大井中学校前を通る道路の線形改良について、三芳町との協議は進んでいるか。

当初三芳町の計画では右折帯はなかった。市より右折帯の設置を要望し、協議中である。

広域的な都市計画との連携は。

2市1町では入間東部都市計画研究会を設置し、連絡・調整をしている。三芳スマートIC周辺整備についても連絡・調整を行っていく。

がん検診の受診率向上を目指して

伊藤 美枝子 議員

大腸がん、胃がん、乳がん検診は県平均の受診率よりも低い。向上への取り組みは。

胃がん検診は他と比較しても受診率が低い。胃内視鏡検査のスタートを平成30年度から検討している。

今後の取り組み予定は。

胃内視鏡検査は50歳以上が対象で、2年に1回の受診となる。

乳がん検診を集団と個別検診の選択制に。導入に向けて検討していく。

乳房超音波検査の導入を。

QRコードで徘徊する高齢者を早期発見

見守りシールを身の回り品に付け、発見者がスマートフォンで読み取ることで介護者と直接連絡が取れる。早期発見につながるが導入は。

先進事例を調査し検討する。

交通安全対策の取り組みを

駒西小学校東側のガードレールを移設し自転車の安全を。

自転車の安全確保に向けて移設等を検討する。

駒林地区の県道交差点に押しボタン式の信号機の設置を。

東入間警察署に要望する。



駒西小学校東側のガードレール

マンションの老朽化問題への対応

床井 紀範 議員

築40年を超えるマンションは全国で約51万戸(平成27年)で、今後は急速に増加するとの見込みである。市の総住宅戸数とマンション戸数及びその割合は。

課税情報では総住宅戸数は約5万5000戸、分譲マンションは約7200戸。その割合は約13%になっている。

管理組合の状況把握は。管理組合の有無は把握しているが、状況把握の調査は行っていない。相談体制は、毎月、県のマンション居住支援ネット

トワークが相談会を行っている。

平和行政の拡充

身近な人権問題を含め、核兵器のない世界平和な社会をいかに構築していくかが重要。市内の小中学校における平和教育の取り組みの状況は。

教育委員会としては社会科のみならず、道徳や特別活動等を通じて、子どもたちが平和への理解を深め、意識を高めていけるように学校を指導していく。

障がい者の雇用拡大

障がい者の働く場所の確保など、市の取り組み状況は。

特別支援学校の高校生を実習生として市役所



上福岡駅前の指定喫煙所

上福岡駅前の公設喫煙所の撤去を。

平成24年に上福岡駅周辺を路上喫煙禁止区域に指定した。路上喫煙を防止するために駅周辺で迷惑の掛からない場所を喫煙所としたので、存続させていきたい。

受動喫煙させない取り組み

伊藤 初美 議員

で受け入れた実績がある。また、障がい者就労支援センターの登録者218人のうち、120人が就労しており、平均勤続年数は3年7カ月となっている。

高齢者に外出支援を

運転免許証自主返納者へ市内循環ワゴン利用の補助ができないか。現状では考えていない。

災害時の入浴やトイレ対応

下水の逆流などでトイレや浴室が使用できないときの支援は。

防災倉庫に簡易トイレの備蓄をしているが、家庭での備蓄も啓発したい。入浴は長期避難の場合、既存施設の活用も含め関係機関と協議していく。

子どもの心に寄り添う支援を

川畑 京子 議員

市のいじめの現状や対応は。

平成28年度のいじめ認知件数は小学校690件、中学校94件。主に冷やかし、からかい、悪口等が多い。いじめはいつでもどこでも起こるといふ認識のもと、きめ細かに把握した結果である。

市ではいじめ問題対策委員会を開催し、情報共有、連携を図っている。未然防止に向け、子どもの心に寄り添う対応を努めていく。

新たな相談体制の構築を

いじめ、不登校や自殺の未然防止などに、SNSや無料通信アプリLINEを子ども悩み相談に活用できないか。

スマートフォンの普及に伴い、若年層が利用するコミュニケーション手段としてSNSは圧倒的な割合を占めている。SNSを活用した相談体制の構築を行うことは国でも検討されているが、文字や絵文字でのやり取りについて相談員が子どもの気持ちを誤解するおそれがあることから、十分に調査・研究していく。



上福岡公民館前の平和像



犯罪被害者等の支援

谷 新一議員

問 県内では犯罪被害者等支援条例が4自治体で制定されているが、市の考えは。

答 県内市町村の動向を注視し、犯罪被害者等の支援の在り方を考えていく中で検討する。

問 警察、犯罪被害者援助センター等との連携、情報共有は。

答 DV被害者支援は、東入間警察署等と情報共有を図り連携・協力体制を構築している。他の犯罪被害者支援についても当事者の状況に応じて警察、関係機関等と連携を図っていく。

防災士との連携

問 災害時における防災士との連携の在り方は。

答 今後、懇談会等を実施し、意見交換



見守りボランティア活動

地域の見守りボランティア活動

等々を踏まえて検討する。

答 各小学校の防犯会議で地域の方と情報共有を図り、一律の安全指導マニュアル作成ではなく、各校の実態に応じた活動内容の共通理解を推進していく。

元気・健康メニューの認知度向上を

小林 憲人議員

問 福バルとの連携を。答 福バルのチラシ等に元気・健康メニューの協力店と明示をする等、周知及びPRを強化する。問 本庁舎の地下食堂での実施は。答 検討したい。



ヘルシーで美味しい!協力店の元気・健康メニュー

過不足ない地域福祉の進展を

問 福祉サービスの発掘や事業者へのつなぎ等、生活支援コーディネーターとコミュニティソーシャルワーカーの役割が重なる。関係の整理は。答 役割が関連する部分があるので、多機関協働による包括的支援体制の中で検討を行う。

問 認知症サポーターからその先を見据えて。答 認知症サポーターの育成に留まらず、そこからステップアップできるような働きかけを行っていく。

問 今後の公共施設のあり方は。答 総合管理方針や個別の施設計画も必要では。問 他市の状況を勘案しながら進めていく。

大井総合支所の充実を

塚越 洋一議員

問 合併後に機能が縮小された大井総合支所を実質的な総合支所にするための方策は。

答 市民相談体制を整備するなど、窓口業務を拡充してきた。今後も支所機能の充実と庁舎間の交通の便の確保に努める。



大井総合支所

低い土地の浸水対策

問 調整池などの計画的整備を図り、低い土地に雨水を集中させない対策を。

答 引き続き自衛隊大井通信所西側に約1万800㎡規模の調整池を建設する計画がある。また、県と連携をとり、宅地内に雨水浸透ますの設置を進めていく。

狭小住宅の空き家対策

問 解体費用の助成で更地の活用を。答 費用対効果など今後研究する。

問 宅建業者との協力を図るべきでは。答 空き家バンクを設置。連絡調整会議を開催するなど連携を強める。

問 金融機関との協力を進めるべきでは。答 空き家解体ローンの創設、利活用のための特別融資など、空き家等対策計画策定の中で検討することを位置付けていく必要がある。

滝、中丸地区の雨水排水計画

足立 志津子議員

問 新河岸川の排水規制があるとポンプ排水は、大量降雨時には機能しない。用水路の活用や調整池の確保で、浸水を最小限に抑える対策を。答 これから明らかになる内水解析の結果を見極め、考えたい。

福岡江川北側の雨水貯留浸透施設の整備

平成28年12月議会の



台風の被害を受けた中丸地区

防災無線受信機の支給を

問 他自治体で実施しているように、防災無線の内容がわかる防災無線受信機の戸別給付を。答 価格など課題が多く、実施は困難と考える。

スポーツ推進計画

小高 時男議員

問 スポーツを通して青少年健全育成と次の世代を担う指導者の育成の仕組みづくり、また生涯スポーツの推進等、乳幼児からスポーツに親しむ機会をつくらせられているが、スポーツ少年団との関わりは。答 スポーツ少年団の活動は青少年の健全な育成にもつながり非常に重要であると認識している。体育協会と話し合いを進め検討していく。

自治組織集会所施設使用料の格差の是正

問 合併以来、使用料の格差が続いているが、格差の是正をどのように進めるのか。答 市民負担が均一でない状況は合併以来最大の課題として重く受け止めている。利用者による受益者負担も一定程度考慮し、地域コミュニティ活動が滞ることがないよう、市民の意見を伺い検討していく。

支援学校と支援学級の住み分け

問 保護者の要望をどの程度聞き入れるのか。答 保護者の希望を聞き意見を尊重して決めている。

免許証自主返納者に健康増進事業を

問 高齢者ドライバーの運転免許証自主返納時に電動自転車の購入補助をして、健康増進と地域活性化につなげる。答 高齢者への健康増進、地域活性化の観点では有効な策と考えるが、安全面での課題がある。



災害派遣トイレ

問 3階建て建物への送水対応の課題は。答 市内には石綿セメント管が多く残り、現在は増圧ポンプの設置を認めていない。今後、石綿セメント管の更新状況等を踏まえ許可について検討する。

蜂や蛇などの対策の現状と今後の展望

問 高齢世帯へのサポート等の可能性は。答 市では行っていないが、所有者や管理者の駆除が期待できないケースなど状況に応じた対応を図ることは大切であると認識している。

クラウドファンディングで災害派遣トイレを

問 災害派遣トイレの有効性をどう考えるか。答 可搬性トイレの設備導入は一定の有効性が認められる。平時にも市の



編集委員が
インタビュー!

表紙：働く人シリーズに寄せて

環境センターの職員さんに伺いました

- Q** お仕事の内容は。
A 焼却施設全体の運転管理をコンピューターやモニターで制御し、焼却炉に異常がないか24時間交代しながらチームで常に監視をしています。
- Q** この仕事を選んだきっかけは。
A 地元でできる新しい環境センターが求人募集していたことや、2級ボイラー技士、クレーン運転士などの国家資格にも興味がありました。
- Q** 仕事上、特に気をつけていることは。
A 公害防止に、排ガスの基準値をかなり厳しく守っています。
- Q** この仕事のアピールをどうぞ。
A 3Kというイメージがあるかもしれませんが、交代勤務で実際はとてもきれいな施設の中で働

いています。クレーンの操縦も楽しいですよ。環境センターをはじめ、中央制御室の中も見学できるのでぜひ見に来てください。



ふじみ野市在住の岡島さん

議会だよりは、ふじみ野市のホームページからも閲覧できます。市議会の会議録も見られます。政務活動費も公開しています。

ふじみ野市議会

検索



12月定例会の傍聴者は79人でした。

傍聴をお待ちしています

次の定例会の
開会予定: **3月1日** 午前9:30~

請願締切予定: **2月19日** 午前10:00

市役所4階議場で開催します

議会広報常任委員会

委員長	西 和彦	副委員長	川畑 京子
委員	加藤 恵一	委員	渡辺 大
委員	鈴木啓太郎	委員	山田 敏夫
委員	床井 紀範		

表紙の題字を書いてくれた人

葦原中3年 森高菜月さん



私は、緑が多く、桜がきれいで、とても明るいこのまちがとても大好きです。これからもふじみ野市が明るいまちであってほしいです。

平成29年10月の台風第21号は、ふじみ野市にかつてないほどの浸水被害をもたらしました。被災された市民の皆様には心からお見舞い申し上げます。12月定例会では今号に掲載のとおり、台風第21号による浸水被害について集中的な議論が行われました。安全・安心な生活を送ることが市民の願いです。万全な対策をとることが何よりも求められます。今定例会では台風第21号関連の補正予算等のほか、西サービスセンターを廃止し、新たに介護予防センターを設置して高齢者の居場所づくりを推し進めていくことや、子育て支援策として、国民健康保険税の均等割額を第3子以降減免する条例改正などを議決しました。新年度に向け、高齢者や子育て世帯への支援策などがますます重要になってきます。これらの課題に議会としてしっかりと取り組んでいきます。(山田 敏夫)

編集後記

議会基本条例に関する
意見交換会を開催します

日時 2月25日(日) 午前の部=午前10時~正午
午後の部=午後2時~4時

場所 市役所 本庁舎5階 全員協議会室

関連記事 5ページ